

令和7年度 鹿島山北高等学校 自己評価表

1/3

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
教育課程・ 学習指導	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	B	各科目の学習内容をもとに、『実生活』と結びつけた『実学』を伝える。また、地域の教育資源と連動した授業展開を進める
		体験学習の実施と地域の人材活用	B	学校設定科目以外の授業でも活用を進める
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	A	
	教育課程等の状況	体験学習、学校行事などの管理・実施体制	B	熱中症、クマ被害等、積極的に情報収集を行い、臨機応変に対応する
		年間指導計画の編成及び適正な時間割	A	
		補充的学習時間の設定及び発展的学習の実施	B	令和6年度より導入したWEB学習システムを通じて、中学の学び直しや、高校の学習の復習用教材を採用
キャリア教育		組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B	ハローワークや上級学校、進路支援団体等との連携を通じて個々の状況に合わせた指導を進める
		生徒の学籍台帳及び成績台帳等の個人的資料の管理	A	
		社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B	職業体験や職場見学等、就職・進学を問わず、卒業年次前から将来の進路選択を見据えた指導を進める
		保護者や地域社会との連携協力の状況	B	保護者用ポータルサイトを導入 学校設定科目をはじめとする授業での活用を模索
		職場体験活動や就業体験活動の状況	B	スクーリング時の実施を模索
生徒指導	生徒指導の状況	緻密な生徒指導の体制	B	犯罪への安易な加担の回避や社会規範意識の向上を、スクーリング時や学習コンテンツを通じて図る
		出席、遅刻・早退のデータ管理と指導体制	A	
	人格的発達のための指導	基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	A	
		社会人としての勤労、公德心意識等の指導の状況	A	
保健管理		地域の保健・医療機関等との連携の状況	A	
		健康管理と健康診断の実施の状況	B	令和7年度より健康診断を実施した

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	A	
		危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
組織運営		校務分掌等の機能性と運営・責任体制の整備	B	一部改善は図られたが、更なる工夫が必要
		計画・執行・決算・監査に至る財務運営の状況	B	決算の黒字化は継続
		職専免研修の承認状況、服務監督の状況	B	管理職の外部研修への参加は進めたが、一般職員の参加促進が課題
		各種文書や個人情報等の管理の状況	A	
資質向上の取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	4月、9月に校内研修を実施 校外研修への参加促進が課題
		授業改善の取組の状況	B	教材の見直しや地域資源の活用等の検討
教育目標・ 学校評価	教育目標の設定と 自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	地域の特性を活かし、特色あるきょういくを目指して、 引き続き改善が必要
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	B	大目標をもとにした中小目標の設定が必要
	学校関係者評価の 実施状況	第三者評価の実施状況	A	
		第三者評価の結果の設置者への報告の状況	A	
	生徒・保護者の意見・ 要望等の状況	教育相談体制の整備状況	A	
		生徒・保護者の授業満足度等の評価把握の状況	B	保護者ポータルを通じたアンケートの実施を検討
情報提供		学校に関する情報の提供状況	B	ホームページ以外の情報発信の強化
		学校評価結果の公表状況	A	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	ホームページをリニューアル 引き続き、内容の充実を図る

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
保護者、地域住民等との連携		地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	B	令和8年度からの実施に向け、教材のリニューアルを図る
		授業等における地域の人材など外部人材の活用状況	A	
教育環境の整備	施設・設備	施設・設備の活用状況	B	令和8年度に向け、調理室(調理実習)、木工室(森林授業)の整備
		設置者と連携した施設・設備の点検、整備の状況	A	
	教材・教具等	設置者と連携した教材・教具・図書の整備、充実	B	ICTの拡充と有効活用 オンライン学習システムの学習コンテンツの拡充

1. 「A＝良好である」「B＝特筆すべき改善点はない」「C＝改善すべき点が見受けられる」に基づき全教職員で評価を行い、最終的に学校長及び教頭、並びに事務長の3名で取りまとめた。
2. 上記評価は、令和7年4月1日～令和8年3月31日までの1年間を対象としている。